

「スプラトゥーン水鉄砲（水が出ない）」の修理

2025.7.31
生駒の田中

1. 特徴・外観



- おもちゃ名は「スプラトゥーンスコープ」というスコープ付のリアルなライフル型の水鉄砲です。（但し、スコープは飾りで覗いても見えません）
- 約780mlの大きな水タンクがあり、加圧レバー（ポンプ）によりタンクに空気を送り込み、その空気圧で水を銃口から先に約5m飛ばします。

2. 故障内容

- 今回の故障はトリガーを引いても水が出ないでした。
- このタイプの水鉄砲は、長期間の保存によりトリガーがパイプを押し潰し、パイプが変形したままになり詰まって水が出なくなるよくある症状です。

3. 分解・故障原因の特定

3-1. 本体の分解

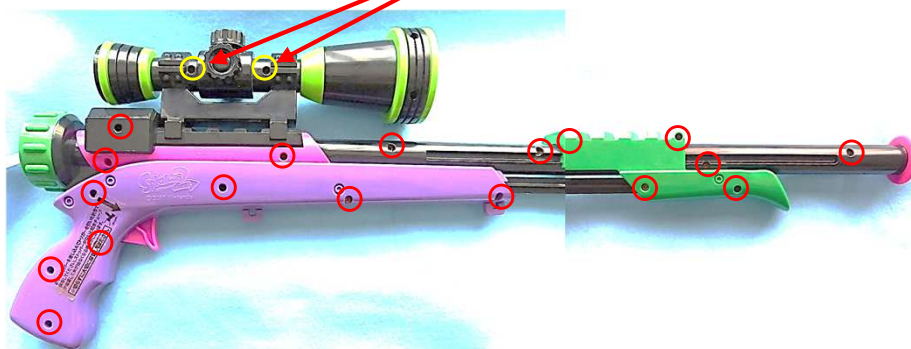
- 先ず、タンクを外します。

タンクは反時計方向に回すと外れますが、本体に付いている緑のリングは、左ネジで時計方向に回さないと抜けませんので注意が必要です。

（最初はタンクと同じように反時計方向に回し抜こうとしましたが、全く回らず接着されていると勘違いをしました。）



- 次に、本体の右側にあるネジを外し分解をしていきます。但し、スコープの部分は分けないのでネジ（2本）だけは残し他は全て外します。



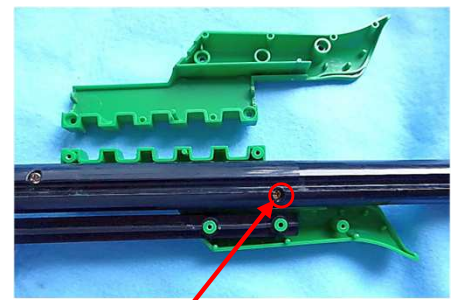
- 紫色のグリップ部は先端の2箇所には爪があるのでマイナスドライバなどを差し込み外します。
- 外したカバーや緑色のポンプレバーの下にもネジがあるので、それも抜きます。



爪

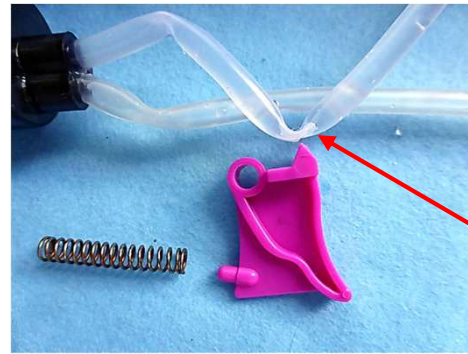


ネジ



ネジ

- スコープ部は分解できないので、半開きの状態でトリガーとパイプの部分を取り出します。
- やはり、水が出ない原因はトリガーの先でパイプを押しつぶされて変形していたせいです。



パイプの変形部

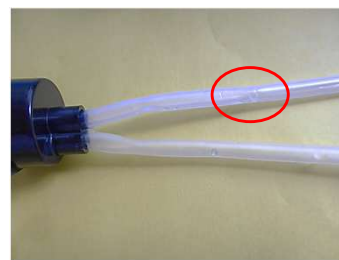
4. 修理の方法

4-1. パイプの修復

- パイプの変形した部分にドライヤーで温風を当てながら指先で元の形状に戻します。



修復前



修復後

- ポンプ側パイプとの隙間から空気が漏れているのが見つかったので二液性のエポキシ接着剤で周囲を埋めました。
- ポンプのシリンダー（シリコンリング）の周りにもシリコングリスを塗布しました。



接着剤を充填



シリコングリスを塗布

5. 組立・完成

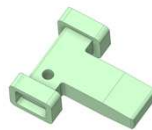
5-1. 組み立て

- パイプを組み込む時には変形していた場所をトリガーの先端から少しずらしておきます。

5-2. 長期保管時のトリガーストッパー

- この水鉄砲には保存時にパイプの変形を防止するための部品（トリガーストッパー）を差し込むように指示されたラベルが貼られています。
- しかし、既に紛失されてしまったのか付属されていませんでした。
- そこで、3D部品を代用品として付属しました。

（ストッパーの現物が無かったので形状寸法はラベルからの想像です。）



ストッパー（3D品）

